

(応援要請・個別の場合 直接応援市町村へ)

災害時相互応援連絡表（個別応援）

要請側市町村 連絡者	埼玉県 連絡者	応援側市町村 連絡者
担当課 氏名 電話 FAX		担当課 氏名 電話 FAX

次のとおり応援を要請（実施）します。

要請市町村	
応援市町村	
要請日時	年 月 日（午前・午後 時 分）
被害の状況	
応援の内容	①被災市町村は、要請する応援の種類・応援の具体的な内容及び必要量を具体的に記入する。必要に応じて別葉すること。 ②受信した市町村は、応援の可否を判断して、応援できる内容・数量を書き加え、被災市町村に返信する。
応援希望時期	
応援場所	
応援経路	
その他 必要事項	

(応援要請・複数応援の場合 県へ)

災害時相互応援連絡表（複数応援）

要請側市町村 連絡者	埼玉県 連絡者	応援側市町村 連絡者
担当課 氏名 電話 FAX	担当課 氏名 電話 FAX	担当課 氏名 電話 FAX

次のとおり応援を要請（受託）します。

要請市町村	
応援市町村	
要請日時	年 月 日（午前・午後 時 分）
被害の状況	
応援の内容	①被災市町村は、要請する応援の種類・応援の具体的な内容及び必要量を具体的に記入する。必要に応じて別葉すること。 ②受信した市町村は、応援の可否を判断して、応援できる内容・数量を書き加え、県に返信する。
応援希望時期	
応援場所	
応援経路	
その他 必要事項	

文 書 番 号
年 月 日

応援要請書

市町村長 様

市町村長

災害時における埼玉県内市町村間の相互応援に関する基本協定第3条第1項に基づき、別添様式1
のとおり応援を要請します。

文 書 番 号
年 月 日

応援要請書

市町村長 様

市町村長

災害時における埼玉県内市町村間の相互応援に関する基本協定第3条第2項に基づき、別添様式2
のとおり応援を要請します。

本文 ➡ 《第2編 第3章 第1節 第1》参照

本文 ➡ 《第3編 第3章 第1節 第1》参照

配備通知書

第 号

年 月 日

様

伊奈町長

() 配備の施行について（通知）

年 月 日 時 分 () 配備を

〔 施行
伊奈町災害対策本部を設置 〕したので通知します。

本文 ➡ 《第2編 第3章 第1節 第2》参照

本文 ➡ 《第3編 第3章 第1節 第1》参照

出 動 職 員 報 告 書

年 月 日

所属名

所属長

部 名				部長名		
班 名				班長名		
職 名	氏 名	執務場所		出動時間	備 考	

本文 ➡ 《第2編 第3章 第1節 第1》参照

本文 ➡ 《第3編 第3章 第1節 第1》参照

本部長指令第 号

年 月 日 時 分			
発信者		受信者	
(内容)			
(報告内容)			

本文 ➡ 《第2編 第3章 第1節 第4》参照

本文 ➡ 《第3編 第3章 第1節 第3》参照

第 号

年 月 日

埼玉県知事

様

伊奈町長

自衛隊災害派遣要請書

下記の事由により、至急自衛隊の派遣を要請します。

記

1. 災害の状況及び派遣を要請する事由
2. 派遣を必要とする期間
3. 派遣を希望する地域及び活動内容
 - (1) 地 域
 - (2) 活動内容
4. その他、参考となるべき事項

本文 ➡ 《第2編 第3章 第1節 第4》参照

本文 ➡ 《第3編 第3章 第1節 第3》参照

第 号

年 月 日

埼玉県知事

様

伊奈町長

自衛隊災害派遣撤収要請書

当町 地区の避難救助活動のため、 年 月 日付

第 号をもって自衛隊の派遣を要請しましたが、避難救助活動が概ね完了いたしましたので、撤収を要請します。

記

撤収要請日時 年 月 日 時 分

本文 ➡ 《第2編 第3章 第2節 第2》参照

本文 ➡ 《第3編 第3章 第2節 第2》参照

発 生 速 報

		伊 奈 町			
日	時	分	受信	発信者	受信者
1 被害発生	自	年	月	日	時 分
	至	年	月	日	時 分
2 被害場所					
3 被害程度					
4 被害に対する措置					
5 その他必要事項					

「注」 内容は簡単に要を得たものとする。

本文 ➡ 《第2編 第3章 第2節 第2》参照

本文 ➡ 《第3編 第3章 第2節 第2》参照

経 過 速 報

伊 奈 町

				発信者				受信者															
災害の種別								発生地域															
被害報告 自				月				日				至				月				日			
報告区分																							
区 分				被 害				区 分				被 害											
人的被害	死 者		人					田畑被害	田	流失・埋没		ha											
	行方不明者		人							冠 水		ha											
	負傷	重傷	人							畑	流失・埋没		ha										
		軽傷	人								埋 没		ha										
住家被害	全壊 (全焼・流失)		棟					道路被害	決壊		箇所												
			世帯						冠水		箇所												
			人																				
	半壊(半焼)		棟					その他の被害	文 教 施 設		箇所												
			世帯						病 院		箇所												
			人						橋 り よ う		箇所												
	一部破損		棟						河 川		箇所												
			世帯						砂 防		箇所												
			人						清 掃 施 設		箇所												
	床上浸水		棟						崖 く ず れ		箇所												
			世帯						鉄 道 不 通		箇所												
			人						船 舶 被 害		隻												
	床下浸水		棟						水 道		戸												
			世帯						電 話		回線												
			人						電 気		戸												
	非住家被害		公共建物	全壊(焼)	棟					ガ ス		戸											
半壊(焼)				棟					ブロック塀等		箇所												
その他			全壊(焼)	棟					罹 災 世 帯 数		世帯												
	半壊(焼)	棟					罹 災 者 数		人														
								火災発生	建 物		件												
									危 険 物		件												
									そ の 他		件												

災害に対してとられた措置

(1) 災害対策本部設置状況

(2) 町のとった主な応急措置の状況

(3) 応援要請又は職員派遣の状況

(4) 災害救助法適用の状況

(5) 避難命令・勧告の状況

(6) 消防機関の活動状況

ア 出動人員 消防職員 人

消防団員 人

計 人

イ 主な活動状況 (使用した機材を含む)

地区数 人員 人

本文 ➡ 《第2編 第3章 第2節 第2》参照

本文 ➡ 《第3編 第3章 第2節 第2》参照

被 害 状 況 調

伊 奈 町

災害の種別		発生地域	
被害日時	自 月 日	至 月 日	
報告区分	確 定		

区 分			被 害	区 分			被 害	
人 的 被 害	死 者	人		田 畑 被 害	田 畑	流失・埋没	ha	
	行方不明者	人				冠 水	ha	
	負傷	重傷	人				流失・埋没	ha
		軽傷	人				埋 没	ha
住 家 被 害	全壊 (全焼・流失)		棟		道路被害	決壊	箇所	
			世帯			冠水	箇所	
			半壊(半焼)	人		そ の 他 被 害	文 教 施 設	箇所
	棟			病 院	箇所			
	世帯			橋 り ょ う	箇所			
	人			河 川	箇所			
	一部破損	棟		砂 防	箇所			
		世帯		清 掃 施 設	箇所			
		人		崖 く ず れ	箇所			
	床上浸水	棟		鉄 道 不 通	箇所			
		世帯		船 舶 被 害	隻			
		人		水 道	戸			
	床下浸水	棟		電 話	回線			
		世帯		電 気	戸			
		人		ガ ス	戸			
				ブロック塀等	箇所			
非 住 家 被 害	公共 建物	全壊(焼)	棟		罹 災 世 帯 数		世帯	
		半壊(焼)	棟		罹 災 者 数		人	
	そ の 他	全壊(焼)	棟		火 災 発 生	建 物	件	
		半壊(焼)	棟			危 険 物	件	
					そ の 他	件		

区 分		被 害	市町村災害対策本部		
公 立 文 教 施 設	千円		名称		
農 林 水 産 業 施 設	千円		設置	月	日
公 共 土 木 施 設	千円		解散	月	日
そ の 他 の 公 共 施 設	千円		災害対策本部設置市町村名		
小 計	千円				
公共施設被害市町村数	団体		計 団体		
そ の 他	農 業 被 害	千円			
	林 産 被 害	千円			
	畜 産 被 害	千円	災害救助法適用市町村名		
	水 産 被 害	千円			
	商 工 被 害	千円			
			計 団体		
	そ の 他	千円			
被 害 総 額	千円		消防職員出動延人数	人	
			消防団員出動延人数	人	
備 考	1 災害発生場所				
	2 災害発生年月日				
	3 災害の種類概況				
	4 消防機関の活動状況				
	5 その他（避難指示の状況）				

年 月 日 時 分					受信者		
相手方							TEL
(内容) 1. 場 所 2. 状 況 3. 要請事項							
(処理状況)				担当課 担当者			

本文 ➡ 《第2編 第3章 第4節 第2》参照

本文 ➡ 《第3編 第3章 第5節 第2》参照

《避難所開設状況（第1報）》

発信者			受信者			年　月　日　時　分					
避難所名					開設日時	年　月　日　時　分					
避　難　理　由			避難指示・高齢者等避難・自主避難								
避難所連絡手段			F A X - - 電話番号 - - そ の 他								
担当者 人 ()	所　属		職	氏　名		所　属		職	氏　名		
避難所の状況等	地　区　名		世　帯			人　数		備　考			
	避難所の応急危険度判定				未実施・安全・要注意・危険						
ライフライン状況				断水・停電・ガス停・電話不通・携帯電話不通							
緊急を要する事項（負傷者等の状況を中心に具体的に箇条書きで記入してください）											
対 応	(食料・毛布その他必要物品等の状況)										

本文 ➡ 《第2編 第3章 第4節 第2》参照

本文 ➡ 《第3編 第3章 第5節 第2》参照

避難者カード

記入日 年 月 日 ごろ ※世帯ごとに記載してください。

避難先	避難所 ・ 在宅 ・ その他 ()				
行政区名	※区未加入の方は「未加入」と記載				
避難所 にいる 方に○	フリガナ	年齢	性別	代表者との 関係性	備考
	氏 名				※要配慮者の番号と特に配慮 を要することを記載
	(代表者)	歳			
		歳			
		歳			
		歳			
		歳			
住 所	〒				
代表者 電話番号	()				
要配慮者 ※該当する方 は、備考欄に番号 を記載	1 妊産婦 2 乳幼児 3 障がい者 () 4 要介護者 5 医療機器利用者 6 アレルギー () 7 外国人(国籍:) 8 その他 ()				

※ 要配慮者とは、妊産婦、乳幼児、障がい者など避難生活に特別な配慮が必要な方を指します。

安否確認のための情報開示 (「希望する」「希望しない」のどちらかに○をつけてください。)	
ホームページや報道機関などを通じた避難者情報の提供を希望しますか？	希望する・希望しない
親族・同居人・知人からの安否の問い合わせに対して避難者情報の提供を希望しますか？	希望する・希望しない
住居被害等 ※分かるものに	・住めない位の損壊や焼損 ・不安を覚える位の損壊 ・流失 ・床上床下浸水 ・断水 ・ガス停止 ・電話不通 ・なし

以下の表は運営委員会で記載します。

避難者カードNO	退所年月日/在宅被災者の支援終了日	転出先と連絡先
	年 月 日	転出先：
		電 話： ()

《備考》

避難者カードを記載してもらう際の留意点

(名簿班、避難所担当職員)

記入例

記入日 ○○年 ○月 ○○日 ○○時ごろ ※世帯ごとに記載してください。

避難先		○避難所・在宅・○その他（親戚宅）			
行政区名		○○区 ※区未加入の方は「未加入」と記載			
避難所にいる方に○	フリガナ	年齢	性別	代表者との関係性	備考
	氏名				※要配慮者の番号と特に配慮を要することを記載
○	(代表者) イナ タロウ 伊奈 太郎	○○歳	男	本人	
○	イナ ハナコ 伊奈 花子	○○歳	女	妻	1
	イナ イチロウ 伊奈 一郎	○○歳	※空欄でも可	子	
○	イナ ハルコ 伊奈 春子	○○歳	女	子	6 アレルギー（小麦）
		歳			
住所	〒○○○-○○○○ 伊奈町○○ ○○番地				
代表者電話番号	○○○（○○○○）○○○○				
要配慮者 ※該当する方には、備考欄に番号を記載	1 妊産婦 2 乳幼児 3 障がい者（聴覚障がい） 4 要介護者 5 医療機器利用者 6 アレルギー（ ） 7 外国人（国籍： ） 8 その他（ ）				

※ 要配慮者とは、妊産婦、乳幼児、障がい者など避難生活に特別な配慮が必要な方を指します。

安否確認のための情報開示 （「希望する」「希望しない」のどちらかに○をつけてください。）	
ホームページや報道機関などを通じた避難者情報の提供を希望しますか？	希望する・希望しない
親族・同居人・知人からの安否の問い合わせに対して避難者情報の提供を希望しますか？	希望する・希望しない
住居被害等 ※分かるものに	・住めない位の損壊や焼損 ・不安を覚える位の損壊 ・流失 ・床上床下浸水 ・断水 ・ガス停止 ・電話不通 ・なし

以下の表は運営委員会で記載します。

避難者カードNO	退所年月日/在宅被災者の支援終了日	転出先と連絡先
	年 月 日	転出先：
		電 話： ()

本文 ➡ 《第2編 第3章 第4節 第2》参照

本文 ➡ 《第3編 第3章 第5節 第2》参照

《避難所状況報告（第 報）》

発信者				受信者				年	月	日	時	分
避難所名							電話					
避難所の状況	地区名	世帯	人数	備考								
(状況)												
担当者												
連絡事項												

本文 ➡ 《 第 2 編 第 3 章 第 4 節 第 2 》 参照
本文 ➡ 《 第 3 編 第 3 章 第 5 節 第 2 》 参照

避 難 状 況 一 覧

作成者 _____

避難所名	電 話	責任者	開設日時	避 難 状 況（地区名・人数等）			
				時 分	時 分	時 分	時 分

本文 ➡ 《 第 2 編 第 3 章 第 4 節 第 7 》 参照
本文 ➡ 《 第 3 編 第 3 章 第 5 節 第 7 》 参照

《災害救援物資受領書》

災害救援物資として下記のとおり受領しました。

記

品 名	数 量

年 月 日

住 所

氏 名 様

責任者

本文 ➡ 《 第 2 編 第 3 章 第 4 節 第 7 》 参照
本文 ➡ 《 第 3 編 第 3 章 第 5 節 第 7 》 参照

物 資 調 達 状 況

作成者 _____ 年 月 日

調 達 先	調 達 状 況								
	年 月 日 時			年 月 日 時			年 月 日 時		
	種類	数量	金額	種類	数量	金額	種類	数量	金額

本文 ➡ 《第2編 第3章 第4節 第7》参照

本文 ➡ 《第3編 第3章 第5節 第7》参照

〔避難所名〕

《物品輸送引渡書》

引渡場所

年 月 日 時 分

輸送担当者

物 品 名	数 量	備 考

《物品受領書》

受領場所

年 月 日 時 分

受 領 者

物 品 名	数 量	備 考

本文 ➡ 《 第 2 編 第 3 章 第 4 節 第 7 》 参照
本文 ➡ 《 第 3 編 第 3 章 第 5 節 第 7 》 参照

物 資 供 給 状 況

作成者

年 月 日 時 分

避難所名 (地区名)	担当者	供給品目（数量・時間）				
		食糧	毛布			

本文 ➡ 《 第 2 編 第 4 章 第 2 節 第 3 》 参照

本文 ➡ 《 第 3 編 第 4 章 第 2 節 第 3 》 参照

《災害義援金受領書》

災害義援金として下記のとおり受領しました。

記

金

年 月 日

住 所

氏 名 _____ 様

責任者

本文 ➡ 《 第2編 第4章 第2節 第1 》参照
本文 ➡ 《 第3編 第4章 第2節 第1 》参照

第1（第7条関係）

罹災証明書交付申請書

年 月 日

伊 奈 町 長

住所
電話
氏名
罹災者との関係

次のとおり罹災したので、当該罹災に係る証明書の交付を申請します。

罹災者 (※申請者と同じ場合は記入不要)	住所		電話	
	氏名			
罹災日時	年 月 日		時 分	
罹災場所	伊奈町			
罹災原因	☐ 地震 ☐ 台風 ☐ 集中豪雨 ☐ その他()			
建物(家財)の種類	☐ 住家 ☐ 事務所 ☐ 事業所 ☐ 倉庫 ☐ 工場			
	☐ その他()			
罹災状況	☐ 全壊 ☐ 流失 ☐ 大規模半壊 ☐ 半壊 ☐ 一部損壊			
	☐ 床上浸水 ☐ 床下浸水 ☐ その他()			
罹災者と罹災物件との関係	☐ 居住者であり、所有者(同居家族の所有・共有を含む) ☐ 所有者(同居家族の所有・共有を含む) ☐ 居住者(借受人等) ☐ 管理者 ☐ 使用者			
罹災世帯の構成員	氏名	続柄	氏名	続柄
		世帯主		
証明書の使用目的			申請枚数	
添付書類	☐ 被害状況の写真 ☐ 町長が必要と認める書類()			

罹災証明書

発第 号
年 月 日

上記の罹災状況に基づき、下記のとおり証明します。

被害の程度	☐ 全壊 ☐ 大規模半壊 ☐ 半壊 ☐ 一部損壊			
	☐ 床上浸水 ☐ 床下浸水 ☐ その他()			

伊奈町長 印

第2（第7条関係）

罹災届出証明書交付申請書

年 月 日

伊 奈 町 長

住所
電話
氏名
罹災者との関係

次のとおり、災害を受けたことを届出します。

罹災者 (※申請者と同じ場 合は記入不要)	住所	電話
	氏名	
罹災日時	年 月 日	時 分
罹災場所	伊奈町	
罹災原因	☐ 地震 ☐ 台風 ☐ 集中豪雨 ☐ その他()	
建物(家財)の種類	☐ 住家 ☐ 事務所 ☐ 事業所 ☐ 倉庫 ☐ 工場	
	☐ その他()	
罹災状況	☐ 全壊 ☐ 流失 ☐ 大規模半壊 ☐ 半壊 ☐ 一部損壊	
	☐ 床上浸水 ☐ 床下浸水 ☐ その他()	
添付書類	☐ 被害状況の写真 ☐ 町長が必要と認める書類()	

罹災届出証明書

発第 号
年 月 日

上記のとおり、罹災の届出がなされたことを証明します。

伊奈町長 印

第3 (第9条関係)

罹災(届出)証明書交付簿

[illegible]

必要物資提供要請書

(埼玉県 LP ガス協会)

第 1 号様式 (第 3 条関係)

災害時における必要物資提供要請書		
年 月 日		
様		
伊奈町長		
災害時における必要物資の調達に関する協定第 3 条の規定により、次のとおり要請します		
記		
1 必要な物資 及び必要数量 (該当欄に記入)	LP ガス	K
	二重巻きコンロ	台
	調整器その他資機材	
2 搬入希望日時	年 月 日 午前・午後 時	
3 搬入場所	各販売店避難指定場所	
4 調達期間	年 月 日 ~ 年 月 日	
5 その他	災害時の状況により変更もあります。	
備考欄		

本文 ➡ 《 第 2 編 第 2 章 第 2 節 第 6 》 参照
本文 ➡ 《 第 2 編 第 3 章 第 6 節 第 4 》 参照

緊急通行車両関連の様式

第 1

災害応急対策用		
緊急通行車両事前届出書		
年 月 日		
埼玉県公安委員会 殿		
申請者		
機関等の所在地（住所）		
機関等の名称		
氏 名 印		
電 話 （ ）		
【 担当係 氏名 】		

番号欄に表示されている番号					
輸送人員（定員）又は品名					
車両の所有者	住 所				
	氏 名				
業務の内容	1 救助救護 2 応急避難 3 捜 索	4 災害予知 5 災害復旧 6 施設点検	7 人員輸送 8 避難生活 9 調査研究	10 飲食料 11 医療医薬 12 混乱防止	13 広報啓発 14 その他 ()
出 発 地					

（注）この事前届出書は、2 部作成して、当該車両を使用して行う業務の内容を証明する書類を添付の上、使用車両の本拠の位置を管轄する警察署に提出して下さい。

※応援等の要請は電話により直ちに行うこと。また、本様式による要請は、下記事項を把握した段階で速やかに行うこと。

応援等要請のための連絡事項

※いずれかに●

応援等の要請	増隊要請（第報）
送信時間	〇〇 年 月 日 時 分

（消防庁長官又は都道府県知事）殿

（被災地の市町村長）

緊急消防援助隊の応援等の要請等に関する要綱第4条の規定に基づき、次のとおり詳細な災害の状況及び大規模な消防の応援等に関する事項を連絡します。

災 害 発 生 日 時	〇〇 年 月 日 時 分頃
災 害 発 生 場 所	都道府県市区町村
応 援 等 要 請 日 時	〇〇 年 月 日 時 分
災 害 の 状 況	
活動を要望する地域	
要望する活動	

・必要な都道府県大隊

対 象	※いずれかに●	出動可能な全隊	一部の指定した隊
編成に係る連絡事項			※下記に指定する隊
必要な隊、資機材			

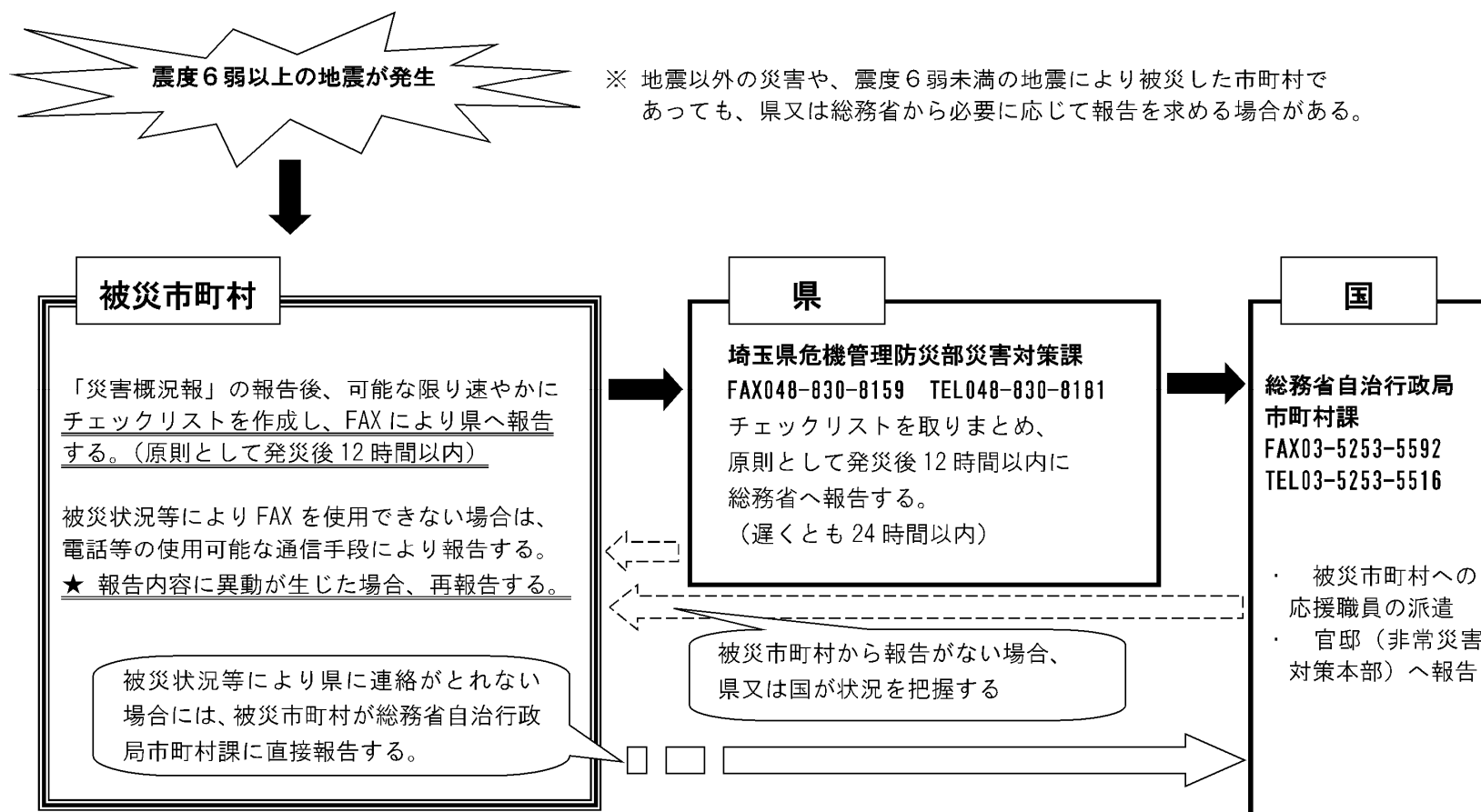
・必要な部隊 ※必要な隊(部隊)に●を付ける。必要(部)隊数が分かる場合は、隊数を記入。

部隊名			連絡事項
指揮支援部隊	統括指揮支援隊		
	指揮支援隊		
	航空指揮支援隊		
航空部隊	航空小隊		
	航空後方支援小隊		
エネルギー・産業基盤災害即応部隊			
NBC災害即応部隊			
土砂・風水害機動支援部隊			

<連絡責任者>

担当課室		氏 名	
NTT回線電話		NTT回線FAX	
地域衛星電話		地域衛星FAX	

市町村行政機能の確保状況の把握フロー



市町村行政機能チェックリスト

<送付先>埼玉県災害対策課 (FAX 048-830-8159 TEL 048-830-8181)

※都道府県はとりまとめ、総務省市町村課 (FAX 03-5253-5592 TEL 03-5253-5516) へ送付

市町村行政機能即報
(チェックリスト)

総務省受信者氏名 _____

災害名 _____ (第 報)

報告日時	年 月 日 時 分
都道府県	埼玉県
市町村	
報告者職名氏名	職名 氏名 ※都道府県等から派遣された者が記入する場合 (派遣元)

1. トップマネジメントが機能しているか

はい いいえ

①市町村長の安否は確認できたか

はい いいえ

(市町村長不在の場合、代行者の職名氏名 _____)

②災害対策本部会議を定期的に行っているか

はい いいえ

③災害応急対策業務等(例:避難所運営、物資供給)(以下「業務等」という)の役割分担を行い、責任者が明確になっているか

はい いいえ

④広報・報道対応を円滑に行っているか(プレスリリースの定例化等)

はい いいえ

⑤特記事項

2. 業務実施体制(人的体制)は整っているか

はい いいえ

①職員は業務等を担うために適切に参集しているか

はい いいえ

(職員の参集状況約 _____ % (業務等実施予定職員約 _____ 名中約 _____ 名参集))

②職員(一般行政)の応援派遣要請は行ったか

はい いいえ

③特記事項

3. 業務実施環境(物的環境)は整っているか

はい いいえ

①災害対策本部が設置される庁舎に災害対策本部業務を実施できないような損壊が生じているか

はい いいえ

②主要な庁舎等に住民窓口業務等を実施できないような損壊が生じているか

はい いいえ

③安否確認、被災者支援に不可欠な住民記録等のデータに支障が生じているか(停電、端末・サーバの損壊、設置場所への立入不可など)

はい いいえ

④特記事項

※ 第一報については、原則として、総務省消防庁へ「災害概況報」提出後、可能な限り早く(原則として発災後12時間以内)、分かる範囲で記載し報告すること。

伊奈町災害弔慰金の支給等に関する様式

第 1 号様式(第 5 条関係)

		診		断		書					
氏 名				生年 月 日	年 月 日		性別	男・女			
傷 病 名					負傷発病年月日						
障害の部位					初 診 年 月 日						
既 往 症		既存障害		治 癒 年 月 日							
療養の内容及び経過											
障害の状態の詳細	(図で示すことができるものは図解すること。)										
関 節 運 動 範 囲	種類範囲										
	部 位		右								
			左								
			右								
			左								
			右								
			左								
	上記のとおり診断します。										
年 月 日											
病院又は診療所の所在地 〒											
名 称											
連絡先											
診療担当者氏 名											
印											

第2号様式(第6条関係)

災 害 援 護 資 金 借 入 申 込 書

※受付日		※受付番号		※受付者		※貸付番号	
被災日時		年 月 日 時				災害名	
被害の種類		1 世帯主の負傷 2 住居の全壊 3 住居の半壊 4 家財の損害				被害場所	
返す方法		年 賦 ・ 半年賦 ・ 月 賦				いつまでに返せますか 年 月 (回)	
借入申込者について	フリガナ					男 ・ 女	
	氏 名					年 月 日生 (歳)	
	フリガナ					郵便番号	
	現住所	(方)				〒 局 番	
	本 籍					勤務先の名称と所在地	
	職 業						
	氏 名	世帯主との続柄	年 齢	健 否	職 業	収入(月収)	勤 務 先 ・ 学 校 名
	世帯の状況と収入						

連帯保証人(保証人が書いて下さい)	収入合計		円				支出合計		円			
	資産の状況	土 地	(1)住宅 m ² (2)田畑 m ² (3)山林 m ²	住居の状況				(1)自家 (2)借家 (3)借間 (4)同居				
		建 物	(1)自宅 m ² (2)その他 m ²	生活保護				年 月 日より受給(生住教医)				
		負 債	(内容)				(金資) 円					
	氏 名					男 女	年 月 日生 (歳)					
	現 住 所					本 籍 地						
	職 業		月 収	円		申込者との関係		家族数	人			
	資 産	土 地	(1)宅地 m ² (2)田畑 m ² (3)山林 m ²	勤務先		名 称						
	建 物	(1)自宅 m ² (2)その他 m ²	所在地		電話 局 番							
	この災害の前一年以内に被災したことの有無及びその状況								(有・無)(状況)			
この災害により世帯主が死亡又は重度障害者となった事実の有無								(有・無)				
資金の用途	資金の使い方総額				円		資金の内訳				合計 円	
	に				円		災害援護資金で				円	
	に				円		手持資金で				円	
	に				円		その他()				円	
	に				円							
被災時の具体的状況								負 傷	全治	か月		
住 居 の 被 害		(1) 全 壊						(2) 半 壊				

被害者の状況	家財	品名	現在購入に要する費用	被害額	品名	現在購入に要する費用	被害額
		和だんす			婦人用腕時計		
		整理だんす			畳(畳中で畳が被害)		
		洋服だんす					
		鏡台			障子		
		腰掛机			ふすま		
		本箱・本だな					
		食器・戸だな			小計		
		食卓・茶ぶ台			その他被害のあった家財		
		げた箱					
	被	照明器具			品名	現在購入に要する費用	被害額
		じゅうたん					
		扇風機					
		石油ストーブ					
		電気やぐらこたつ					
		電気冷蔵庫					
		電気・ガス炊飯器					
		電気洗たく機					
		電気掃じ機					
		ミシン					
電気アイロン							

被害	自転車					
	テレビ					
	ラジオ					
	柱時計					
	目覚し時計				小計	
	紳士用腕時計				合計	

上記のとおり災害援護資金を借入されたく申し込みます。

年 月 日

借入申込者 印

上記の借入れに対し、連帯して債務を負担します。

年 月 日

連帯保証人 印

(宛先)
伊奈町長

第3号様式(第8条関係)

第 号
年 月 日

伊奈町長 印

様

災害援護資金貸付決定通知書

年 月 日申込みのありました災害援護資金は、下記のとおり貸付けを決定しましたのでお知らせします。

記

番 付 番 号	第 号
貸 付 金 額	円
据 置 期 間	年 月 日から 年 月 日まで
償 還 期 間	年 月 日から 年 月 日まで
償 還 方 法	年 賦 半 年 賦 月 賦
利 子	年 パーセント

資金をお渡しする日と手続について

1 貸付金交付日 年 月 日

2 場 所

3 ご持参なさるもの

- (1) この通知書
- (2) 同封の借用書
- (3) 印鑑（保証人を立てる場合にあっては、あなたと保証人の印鑑）
- (4) 印鑑証明書各一通（保証人を立てる場合にあっては、あなたと保証人の印鑑証明）

第4号様式(第8条関係)

第 号
年 月 日

伊奈町長

印

様

災害援護資金貸付不承認決定通知書

年 月 日申込みのありました災害援護資金は、次の理由で不承認となりましたのでお知らせします。

(不承認の理由)

(教示)

- 1 この処分に不服がある場合は、行政不服審査法（平成26年法律第68号）の規定により、この処分があったことを知った日の翌日から起算して3か月以内に、伊奈町長に対して審査請求をすることができます。ただし、この処分の日の翌日から起算して1年を経過すると審査請求をすることができなくなります。
- 2 この処分の取消しの訴えは、行政事件訴訟法（昭和37年法律第139号）の規定により、この処分があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内に、伊奈町を被告として（被告の代表者は伊奈町長となります。）提起することができます。ただし、この処分（審査請求をした場合には、その審査請求に対する裁決）の日の翌日から起算して1年を経過すると処分の取消しの訴えを提起することができなくなります。

なお、上記1の審査請求をした場合には、当該審査請求に対する裁決があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内に、この処分の取消しの訴えを提起することができます。

第5号様式(第9条関係)

貸付決定番号 号

災 害 援 護 資 金 借 用 書

借 用 金 額 円
利 子 年 パーセント
据 置 期 間 年 月 日から 年 月 日まで
償 還 期 間 年 月 日から 年 月 日まで
償 還 方 法 年 賦・半年賦・月 賦

上記の通り借用いたします。

については、災害弔慰金の支給等に関する法律及びこれに基づく命令等の定めるところ
に誠実に従い、相違なく償還いたします。

年 月 日

住 所
借受人氏名 印
住 所
保証人氏名 印

第6号様式(第12条関係)

繰上償還申出書

下記のとおり災害援護資金の繰上償還を行います。

年 月 日

借受人 住 所
氏 名

印

(宛先)
伊奈町長

記

貸 付 番 号
借 受 人 氏 名
貸付けを受けた日
貸付けを受けた金額
償 還 期 限
償 還 金 額
償 還 未 済 額
繰上償還をする日
繰上償還をする金額

第7号様式(第13条関係)

償 還 金 支 払 猶 予 申 請 書

下記のとおり償還金の支払猶予を申請いたします。

年 月 日

借 受 人 住 所

氏 名

印

連帯保証人 住 所

氏 名

印

(宛先)

伊奈町長

申請の理由 (具体的に)				
貸付の条件	借入金額	円	貸付番号	
	据置期間	1 3年 2 5年	希望猶予 期 間 等	ただし 年 月 日 第 回償還以降
	償還方法	年賦・半年賦・月賦		
	償還期間	年 月 日から 年 月 日まで	変更後の 償還期間	年 月 日から 年 月 日まで
支払猶予期 間 の 根 拠	(変更後の償還期日に支払が可能と認められる具体的な理由)			

第8号様式(第13条関係)

第 号
年 月 日

伊奈町長

印

様

支 払 猶 予 承 認 通 知 書

年 月 日申出のあった償還金の支払猶予については、次のとおり承認となったのでお知らせいたします。

支払猶予承認期間 年 月 日から カ月

変更後の償還期間 年 月 日から 年 月 日まで

第9号様式(第13条関係)

第 号
年 月 日

伊奈町長 印

様

支 払 猶 予 不 承 認 通 知 書

年 月 日申出がありました償還金の支払猶予につきましては、次の理由で不承認となりましたので、当初の計画により償還されるようお願い致します。

(不承認の理由)

(教示)

- 1 この処分に不服がある場合は、行政不服審査法（平成26年法律第68号）の規定により、この処分があったことを知った日の翌日から起算して3か月以内に、伊奈町長に対して審査請求をすることができます。ただし、この処分の日の翌日から起算して1年を経過すると審査請求をすることができなくなります。
- 2 この処分の取消しの訴えは、行政事件訴訟法（昭和37年法律第139号）の規定により、この処分があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内に、伊奈町を被告として（被告の代表者は伊奈町長となります。）提起することができます。ただし、この処分（審査請求をした場合には、その審査請求に対する裁決）の日の翌日から起算して1年を経過すると処分の取消しの訴えを提起することができなくなります。

なお、上記1の審査請求をした場合には、当該審査請求に対する裁決があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内に、この処分の取消しの訴えを提起することができます。

第10号様式(第14条関係)

違 約 金 支 払 免 除 申 請 書

下記のとおり違約金の支払免除を申請します。

年 月 日

借 受 人 住 所

氏 名

印

連帯保証人 住 所

氏 名

印

(宛先)

伊奈町長

記

貸 付 番 号					
支払免除を申請する違約金の金額					円
内 容	回 数	期 別	元 金	利 子	申請日までの違約金
		年 月 期			
違約金の支払免除を要する具体的な理由					

第 11 号様式(第 14 条関係)

第 号
年 月 日

伊奈町長

印

様

違約金支払免除承認通知書

年 月 日に申出のありました違約金の支払免除につきましては、下記
のとおり承認されましたのでお知らせいたします。

記

年 月 日償還予定の第 回償還金元金 円、利子 円
に係る 年 月 日における違約金 円の支払を免除致します。

第 号
年 月 日

伊奈町長

印

様

違約金支払免除不承認通知書

年 月 日に申出のありました違約金の支払免除につきましては、次の理由で不承認となりましたのでお知らせいたします。

(理 由)

なお、あなたの 年 月 日償還予定の第 回償還金（元利合計
円）に係る違約金は 年 月 日現在 円となっておりますので至急
償還を願います。

(教示)

- 1 この処分に不服がある場合は、行政不服審査法（平成 26 年法律第 68 号）の規定により、この処分があったことを知った日の翌日から起算して 3 か月以内に、伊奈町長に対して審査請求をすることができます。ただし、この処分の日の翌日から起算して 1 年を経過すると審査請求をすることができなくなります。
- 2 この処分の取消しの訴えは、行政事件訴訟法（昭和 37 年法律第 139 号）の規定により、この処分があったことを知った日の翌日から起算して 6 か月以内に、伊奈町を被告として（被告の代表者は伊奈町長となります。）提起することができます。ただし、この処分（審査請求をした場合には、その審査請求に対する裁決）の日の翌日から起算して 1 年を経過すると処分の取消しの訴えを提起することができなくなります。

なお、上記 1 の審査請求をした場合には、当該審査請求に対する裁決があったことを知った日の翌日から起算して 6 か月以内に、この処分の取消しの訴えを提起することができます。

第13号様式(第15条関係)

災害援護資金償還免除申請書

貸付番号					
借受人氏名		貸付けを受けた日	年 月 日	貸付金額	円
償還方法	年賦・半年賦 ・月賦	償還期限	年 月 日	償還金額	円
免除申請額	円 (償還未済額の全部一部で 円)				
免除申請理由及び理由発生年月日又は理由継続期間					
免除申請者	フリガナ 氏 名			男・女	年 月 日生
	現住所				
	本籍				
	借受人との関係		職業		
	勤務先及び所在地				
借の受相続人はそ	フリガナ 氏 名			男・女	年 月 日生
	現住所			借受人との続柄	
	職業			勤務先及び所在地	
保証人	フリガナ 氏 名			男・女	年 月 日生
	現住所				借受人との関係
	職業		勤務先及び所在地		
上記のとおり災害援護資金の償還を免除されたく申請します。 年 月 日 免除申請者 印 (宛先) 伊奈町長					

第 14 号様式(第 15 条関係)

第 号
年 月 日

伊奈町長

印

様

災害援護資金償還免除承認通知書

年 月 日申出のあった災害援護資金の償還免除については、次のとおり行うことになりましたのでお知らせいたします。

(承認内容)

全部免除・一部免除

申請日現在の償還未済額	元 金	円
	利 子	円
	違約金	円
	合 計	円
償還を免除した額	元 金	円
	利 子	円
	違約金	円
	合 計	円
申請日現在の状況で今後償還を必要とする額	元 金	円
	利 子	円
	違約金	円
	合 計	円

償還未済額がある場合は、定められた償還期間経過により、償還未済額につき年利 5 % の率で違約金がさらに加算されます。

第 号
年 月 日

伊奈町長

印

様

災害援護資金償還免除不承認通知書

年 月 日申出のあった災害援護資金の償還免除については、次の理由で不承認となりましたのでお知らせいたします。

(不承認の理由)

なお、申請日現在の状況で今後償還を必要とする額は次のとおりとなっており、償還未済額がある場合は、定められた償還期間経過により、償還未済額につき年 5 % の率で違約金がさらに加算されます。

元 金	円
利 子	円
違約金	円
合 計	円

(教示)

- 1 この処分に不服がある場合は、行政不服審査法（平成 26 年法律第 68 号）の規定により、この処分があったことを知った日の翌日から起算して 3 か月以内に、伊奈町長に対して審査請求をすることができます。ただし、この処分の日から起算して 1 年を経過すると審査請求をすることができなくなります。
- 2 この処分の取消しの訴えは、行政事件訴訟法（昭和 37 年法律第 139 号）の規定により、この処分があったことを知った日の翌日から起算して 6 か月以内に、伊奈町を被告として（被告の代表者は伊奈町長となります。）提起することができます。ただし、この処分（審査請求をした場合には、その審査請求に対する裁決）の日から起算して 1 年を経過すると処分の取消しの訴えを提起することができなくなります。

なお、上記 1 の審査請求をした場合には、当該審査請求に対する裁決があったことを知った日の翌日から起算して 6 か月以内に、この処分の取消しの訴えを提起することができます。

第16号様式(第17条関係)

氏 名 等 変 更 届

貸 付 番 号				
借 受 人	氏 名		住 所	
連帯保証人	氏 名		住 所	
○で囲むこと 1 住所変更 2 改姓又は改名 3 死亡又は行方不明 4 その他		(変更の内容)		
災害援護資金を借用中のところ、上記のとおり変更いたしましたのでお届けいたします。 年 月 日 借受人(又は同居の親族) 住 所 氏 名 印 連帯保証人 住 所 氏 名 印 (宛先) 伊奈町長				

(参考)規則第2条の調査事項

災害弔慰金支給調査票

				決 定 番 号	
死 亡 に 関 す る 事 項	フリガナ 死亡した者 の 氏 名			男・女	年 月 日生
	死 亡 し た 年 月 日	年 月 日		住 所	
	死亡の状況 (行方不明)	災 害 名		死亡した場所	
遺 族 に 関 す る 事 項	死 者 と の 続 柄	氏 名	住 所		備 考
支 給 に 関 す る 事 項	支 給 日	年 月 日		支給場所	
	災害弔慰金 を支給した 遺族について	氏 名		続 柄	支 給 金 額
					円
		住 所			
	先順位者の 有 無	有 ・ 無		同順位者の 有 無	有 ・ 無
先順位者又 は他の同順 位者に支給 しなかった 理由			支給制限 事由に該 当の有無	有(その事由) 無	
備 考	支給した職員				

伊奈町災害見舞金等支給に関する様式

第1号様式(第3条関係)

災害見舞金等支給申請書

年 月 日

伊奈町長 様

住所
申請者 氏名
電話

伊奈町災害見舞金等支給条例第5条の規定により申請します。

1 被災者住所	
2 被災者氏名	
3 被災年月日	
4 被害の種類等	
5 備考	

備考 被災証明書又は医師の診断書を添付すること。
本申請書は、災害を受けてから20日以内に提出のこと。

第2号様式(第5条関係)

災害見舞金等支給決定通知書

発 第 号
年 月 日

様

伊奈町長

年 月 日申請のあった災害見舞金等の支給については、下記のとおり
決定したので通知します。

記

1 被 害 内 容	
2 支 給 額	円

第3号様式(第6条関係)

災 害 見 舞 金 等 支 給 台 帳

受付 番号	受 付 年月日	被 災 者		申 請 者		金額	被災 内容	支 給 年月日
		住 所	氏 名	住 所	氏 名			